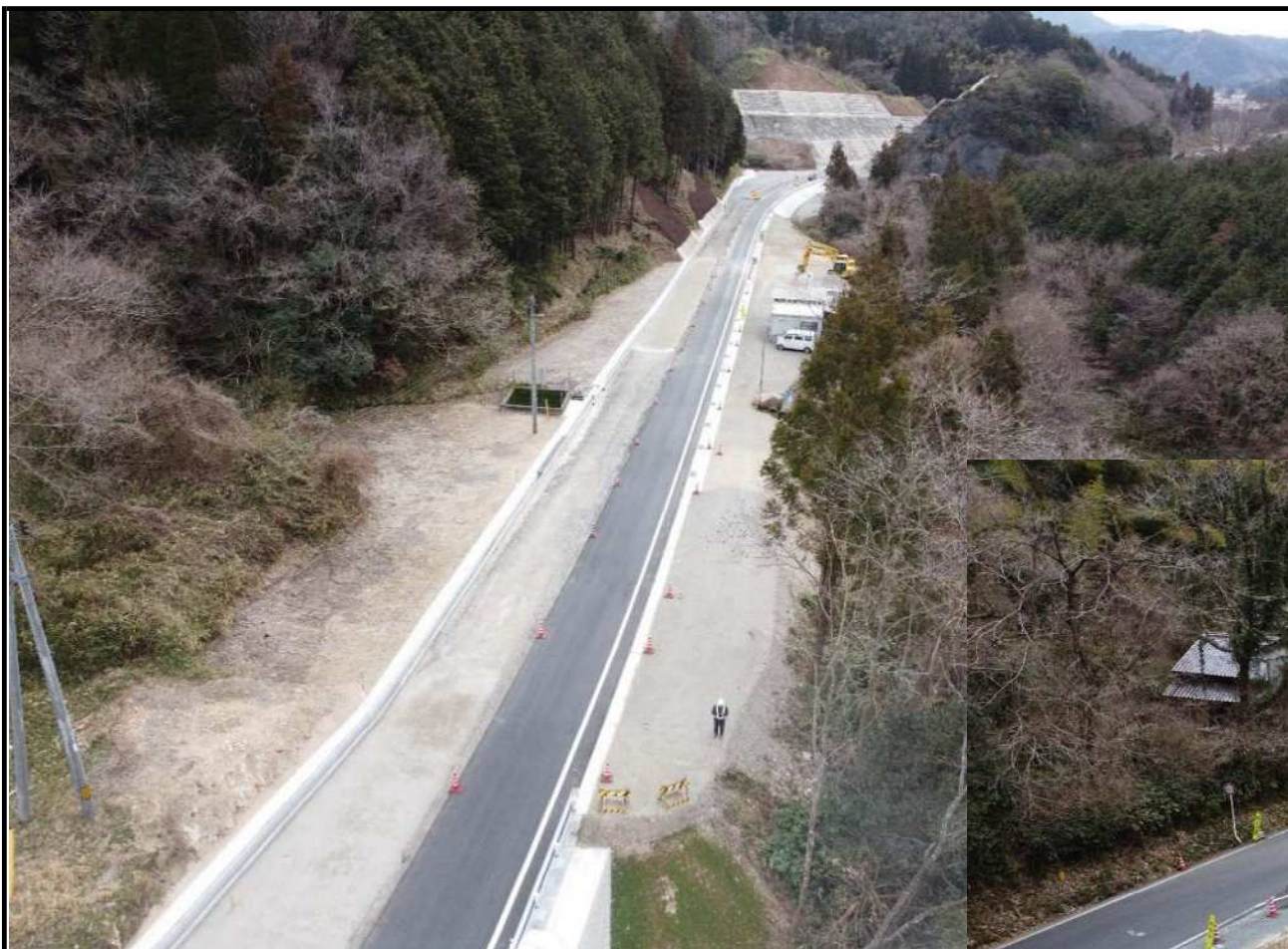




工事
概要

工事延長 L=192m
路面切削工 A=1,510m²
オーバーレイ工 A=1,545m²

表彰区分	所長等表彰	事務所名	県央県土整備事務所		工事名	国道261号(因原工区)県単舗装整備工事		
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	今井産業 株式会社		主任技術者	服部 圭亨



工事
概要

工事延長 L=342.2m
 盛土工 V=2,190m³
 側溝工 L=500m
 帯鋼補強土壁工 A=45m²
 舗装工 A=966m²

表彰区分	所長等表彰	事務所名	県央県土整備事務所		工事名	国道375号(湯抱2工区)総合交付金(改築)工事(補正)		
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	邑東建設 有限会社		主任技術者	中原 浩行

工事 概要	工事延長 L=88.1m	
	大型ブロック積工	A=182m ²
	アスファルト舗装工	A=810m ²
	上層路盤工	A=600m ²
	下層路盤工	A=525m ²



表彰区分	所長等表彰	事務所名	県央県土整備事務所		工事名	国道375号(粕洲工区)交通安全補助工事 第2期		
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	置名土木 有限会社		主任技術者	桑原 健治



工事 概要	工事延長	L=218m
	車両用防護柵工	L=218m
	橋梁補修工	N= 1 式

表彰区分	所長等表彰	事務所名	県央県土整備事務所	工事名	(主)川本波多線(川本大橋)メンテ補助(橋梁修繕)工事 第3期		
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	株式会社 江ノ川開発	主任技術者	小宮 禎祥



工事概要	工事延長 L=66.0m 落石防止網工 A=630m ²
------	--

表彰区分	所長等表彰	事務所名	県央県土整備事務所		工事名	(一)市木井原線(邑南工区)土砂災害補助(災害防除)工事 その34		
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	平成建設 有限会社	主任技術者	山口 弘史	



工事
概要

工事延長 L = 19m
塗替塗装工 A = 200m²

表彰区分	所長等表彰	事務所名	県央県土整備事務所		工事名	(主)浜田作木線(中野屋橋)県単橋梁修繕(PCB対策)工事		
部門	土木部門	工種	道路	受注者名	タナカ塗装システム 株式会社		主任技術者	螺山 敏秀



工事
概要

工事延長 L=182.1m
根継工 L=182.1m

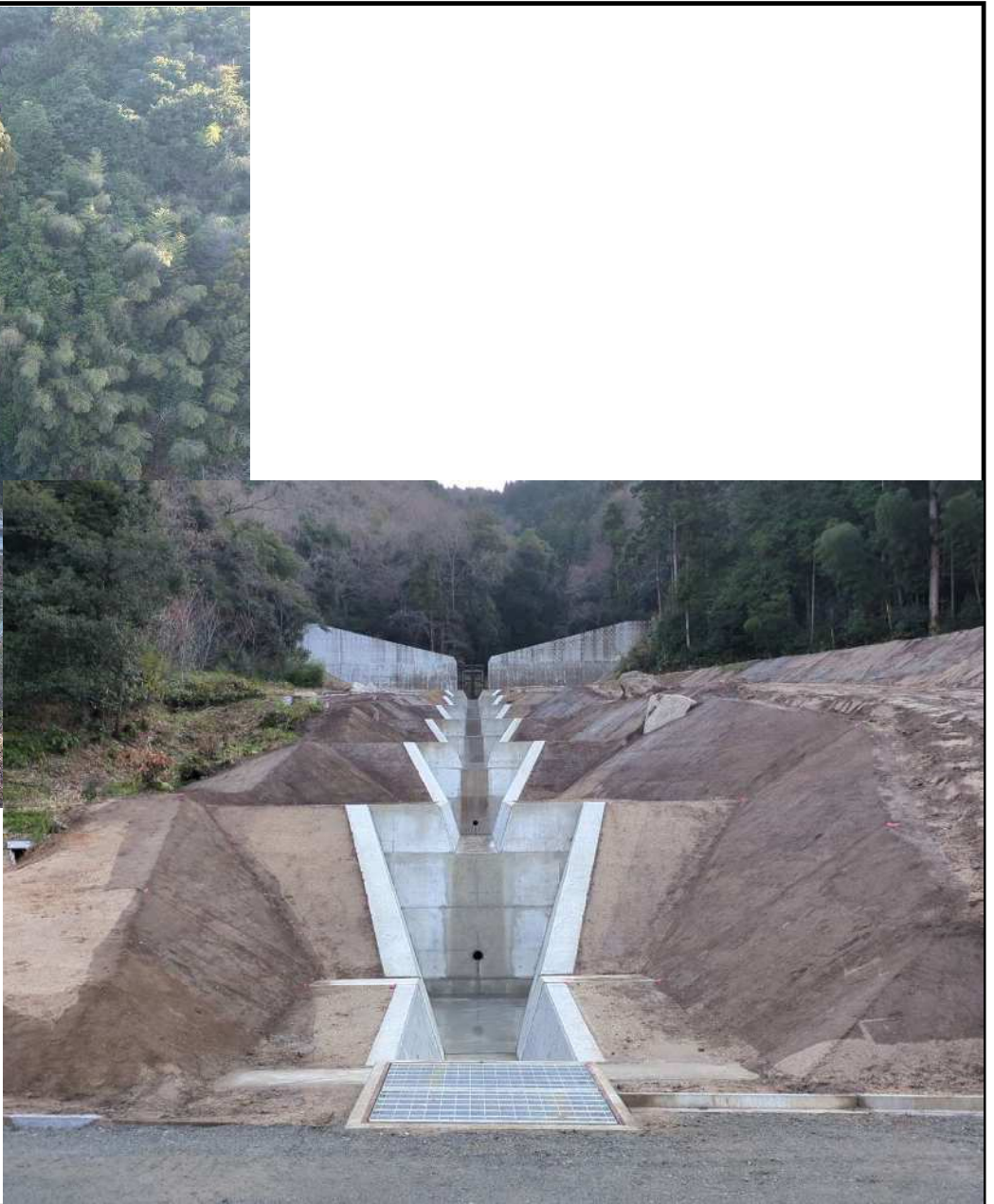
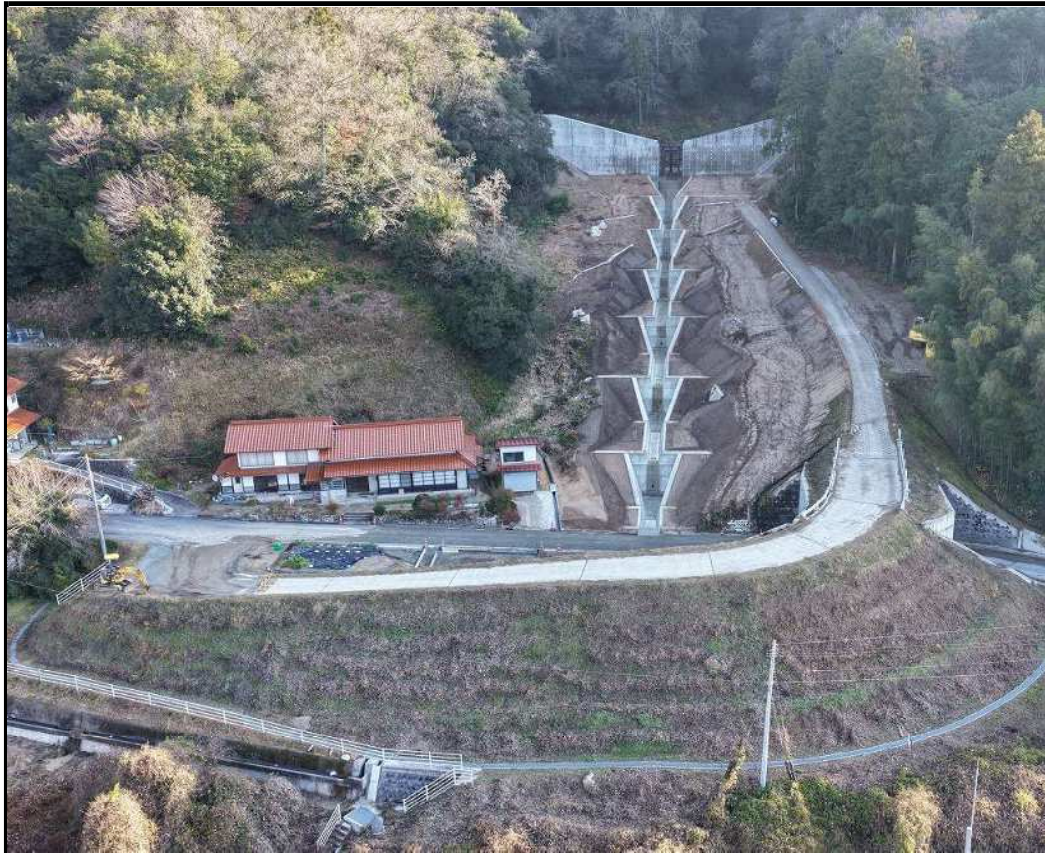
表彰区分	所長等表彰	事務所名	県央県土整備事務所		工事名	出羽川(三日市工区)防安交付金(総流防)工事(補正)その1		
部門	土木部門	工種	河川	受注者名	有限会社 町田土建	主任技術者	岡田 浩幸	



工事
概要

モルタル吹付工
A=2,030m²

表彰区分	所長等表彰	事務所名	県央県土整備事務所		工事名	川本1地区外 砂防メンテ事業(急傾斜)工事(補正)		
部門	土木部門	工種	砂防	受注者名	平成建設 有限会社		監理技術者	岡田 忠文



工事概要	渓流保全工 L=47.4m 床固め工 N=3基
------	----------------------------

表彰区分	所長等表彰	事務所名	県央県土整備事務所	工事名	原の谷川 防災交付金(通常砂防)工事(補正)		
部門	土木部門	工種	砂防	受注者名	漆谷建設 株式会社	主任技術者	木村 忍



工事概要	工事延長	L=35.7m
	重力式擁壁工	V=116m ³
	吹付法枠工	A=61m ² (法枠長 L=113m)

表彰区分	所長等表彰	事務所名	県央県土整備事務所	工事名	石原地区 防安交付金(急傾斜地崩壊対策)工事(補正)		
部門	土木部門	工種	砂防	受注者名	岡山産業 有限会社	主任技術者	直井 博昭

工事概要	舗装工 L=296m						
	表層工 A=2,462m ²						
	側溝工 L=158m						
							
表彰区分	所長等表彰	事務所名	県央県土整備事務所		工事名	令和6年度 地方創生道整備推進交付金 邑南線 舗装修繕(その9)工事	
部門	農林水産部門	工種	農業土木	受注者名	今井産業 株式会社		主任技術者 楸 和也



工事概要

道路開設 L=136.7m
掘削工 V=3,818m³
盛土工 V=3,395m³
下層路盤工 A=783.9m²
法面工 A=1,143.6m²
排水構造物工 L=123.7m
防護柵工 L= 33.0m

表彰区分	所長等表彰	事務所名	県央県土整備事務所		工事名	令和6年度 森林基幹道開設事業 三坂小林線4工区 道路工事		
部門	農林水産部門	工種	森林土木	受注者名	有限会社 町田土建	主任技術者	小原 優	



工事 概要	頃谷1工区
	谷止工（コンクリート）
	N=2基 V=381.6m ³

表彰区分	所長等表彰	事務所名	県央県土整備事務所	工事名	令和6年度(補正) 復旧治山事業 都賀行地区 頃谷1工区外 治山ダム工事		
部門	農林水産部門	工種	森林土木	受注者名	漆谷建設 株式会社	主任技術者	岡先 大輔

表彰区分	所長等表彰	部門	地質調査・測量・調査業務	事務所名	県央県土整備事務所			
業務名	(主)川本波多線外 メンテ補助(トンネル点検)業務			受賞者	株式会社 エイテック	技術者表彰	森脇 軌央	

(1) 現地状況の正確な受発注者間における共有のための工夫

(1)-1 現地踏査結果

各トンネルの点検調査を行うにあたり、現地踏査で過年度申し送りの変状と現在のトンネルの変状(劣化・損傷等)程度を把握しうるので、受発注者間の認識認識を共有するため、着眼点を明確にした現地踏査結果 一覧表を作成し、現地状況の正確な把握に努めた。

施設名	多田トンネル(タダトンネル)	踏査日	令和7年7月14日
基礎データ 前回点検結果	延長 1019.6m 幅員 8.5m(車道幅員6.0m) 有効断面 4.20m 築造年: (土)川本波多線 完成年月: 令和2年(2020年) 工法: NATM工法 所在地: 高知県 川本町 大字金山	前回点検(2020.12.1)結果概要 健全性Ⅱ(予防保全段階) アーチ部 【Ⅱ】 うき・はく離 有 アーチ部 【Ⅱ】 雨合ひび割れ 有	箇所 クマダ
過年度からの 点検結果に 関する取組	【前回点検成果 申し送り事項より】 ◎着眼点A 前回点検にて、閉合した三百円サイズのひび割れが確認されている(写真等) 進行するとブロック状になり、落下する危険性がある。第二者被害につながる可能性があるので、TBM割れ部の増大や湧水の有無に注意して継続的に監視を行っている必要がある。 ◎着眼点B 前回点検では、積留目地部にうきが生じている箇所が確認された。積留上の閉合は確認され、湧水が若干湧出している状態。方向、水量、位置が判明している。TBM割れ部 前回点検が確認箇所であり、対策工法の実施が望ましい。 ◎着眼点C ひび割れブロック化の補修があり、補修が効果的・継続しているかを確認すること。(写真等)		
現地踏査写真	(左)入口状況(着点側 川本町(南面)) 	(右)閉合ひび割れ(S11) 	(左)補修跡(S12) 
着眼点に対する 踏査結果	◎着眼点A 一現地踏査においては変状が確認されなかった。今回点検で重点的に確認する。 ◎着眼点B 一現地踏査においては変状が確認されなかった。今回点検で重点的に確認する。 ◎着眼点C 一現地踏査においては補修跡は問題ないように見られる。今回点検で重点的に確認する。		
現地踏査 結果概要	・着点Aより約80m付近に養蚕場所となる待避所あり。 ・着点Bより約100m付近に町道との交差点あり。 ・着点Cより約50m付近に養生が見られる。 ・着点側50mのところに待避所あり。		

着眼点
を設定

点検時の
重点事項
とした。

(1)-2 点検結果の取りまとめ

定期点検結果を部材ごとに整理した総括表、点検観測書を作成した。点検観測書の撮影を要さず、点検結果の概要書から全体像を網羅的に把握できる資料を作成した。

路線名	トンネル名	延長(m)	施工 方法	建設 年月	点検結果						
					電工			評価	劣化	判定 結果	備 考
					外力	材質劣化	漏水				
(主)川本波多線	多田トンネル	1019.6	NATM	2020	I	II	I	I	I	II	左側壁はく離 有
					I	II	I	I	I	II	右側壁はく離 有
					I	I	I	I	I	I	左側壁はく離 有
					I	II	I	I	I	II	右側壁はく離 有

今回点検で確認された新規損傷		前回点検との比較	
スパン78	スパン84	スパン24	スパン24
左側壁はく離 判定 I 0.05m×1.0m×0.01m	掘削・右アーチ部のひび割れ 判定 I 幅0.1mm(観察状)	高さ24-1 電工・右アーチのうき 判定 II 0.1m×0.4m	高さ24-1 進行なし 電工・右アーチの剥離 判定 I 0.1m×0.4m×0.05m 雨さびしみ

(2) 今後の維持管理を踏まえた工夫

(2)-1 1 判定部材の写真帳

今後損傷の進行によりⅡb判定になりうる損傷についても、定期点検調査とは別に写真帳に取りまとめた。これにより次回以降の定期点検における経年変化追跡の効率化を図るとともに、予防保全型管理に向けた修繕計画立案のための基礎資料を構築した。

写真帳 作成日	写真帳 作成場所	写真帳 作成者	写真帳 作成日	写真帳 作成場所	写真帳 作成者	写真帳 作成日	写真帳 作成場所	写真帳 作成者
2020.12.1	多田トンネル	森脇 軌央	2020.12.1	多田トンネル	森脇 軌央	2020.12.1	多田トンネル	森脇 軌央
2020.12.1	多田トンネル	森脇 軌央	2020.12.1	多田トンネル	森脇 軌央	2020.12.1	多田トンネル	森脇 軌央
2020.12.1	多田トンネル	森脇 軌央	2020.12.1	多田トンネル	森脇 軌央	2020.12.1	多田トンネル	森脇 軌央

(2)-2 判定基準の無い施設の評価提案

トンネル内の排水施設や路面の判定基準はないため、高根県要領の対策判定区分を排水施設や路面の損傷状態に置き替え、以下の判定基準を提案し、点検調査へ反映させた。

高根県要領の対策判定区分		排水判定基準	
区分	定義	区分	定義
I	利用者に対して影響が及ぶ可能性が低い。緊急に処置を要しない状態。	I	漏水が数センチ程度あり。
II	付帯的に、利用者に対して影響が及ぶ可能性があるため、監視を要する状態。	IIa	漏水の下の排水設備が故障。
IIa	付帯的に、利用者に対して影響が及ぶ可能性があるため、監視を要する状態。	IIb	排水設備が故障し、漏水が排水設備の排水能力を超える状態。
III	付帯的に、利用者に対して影響が及ぶ可能性があるため、監視を要する状態。	III	無し。
IV	利用者に対して影響が及ぶ可能性が高い。緊急に処置を要する必要がある状態。	IV	無し。

高根県要領の対策判定区分		路面判定基準	
区分	定義	区分	定義
I	利用者に対して影響が及ぶ可能性が低い。緊急に処置を要しない状態。	I	路面が平坦で排水設備が正常に動作している状態。
II	付帯的に、利用者に対して影響が及ぶ可能性があるため、監視を要する状態。	IIa	路面が平坦で排水設備が正常に動作している状態。
IIa	付帯的に、利用者に対して影響が及ぶ可能性があるため、監視を要する状態。	IIb	路面が平坦で排水設備が正常に動作している状態。
III	付帯的に、利用者に対して影響が及ぶ可能性があるため、監視を要する状態。	III	路面が平坦で排水設備が正常に動作している状態。
IV	利用者に対して影響が及ぶ可能性が高い。緊急に処置を要する必要がある状態。	IV	無し。

トンネル定期点検：2箇所【多田トンネル I 1,012m、雪田トンネル I 155m】
 多田トンネル、雪田トンネルの定期点検において、現地踏査による正確な状況把握、予防保全を見据えた1判定部材の写真帳作成を実施した。また、判定のブレを排除する基準を提案・反映し、結果を総括表等に網羅的に取りまとめた。これにより客観性と信頼性向上、効率化を実現した。

表彰区分	所長等表彰	部門	土木設計業務	事務所名	県央県土整備事務所		
業務名	矢谷川 計画検討業務 その2			受賞者	株式会社 大隆設計	技術者表彰	周藤 淳一郎

業務概要

【概要】

川本町谷地区では浸水被害を防止するため、水防災方式（輪中提＋宅地高上）による河川改修が計画されている。

これまでに矢谷川の護岸詳細設計及び造成設計、その他関連する検討が実施されているが、用地の制限や関係機関との調整等、各種課題が残っている状況である。

本業務では、用地条件に合わせた支川（会下川）の護岸修正設計及び、造成設計の追加検討、年次計画の詳細検討、各種資料作成等を行った。

1.2 矢谷川計画概要



【業務フロー】

業務管理は、「ISO9001品質管理システム」に従い、品質管理、進捗管理、作業方針の検討、各段階でのチェック、照査を行った。

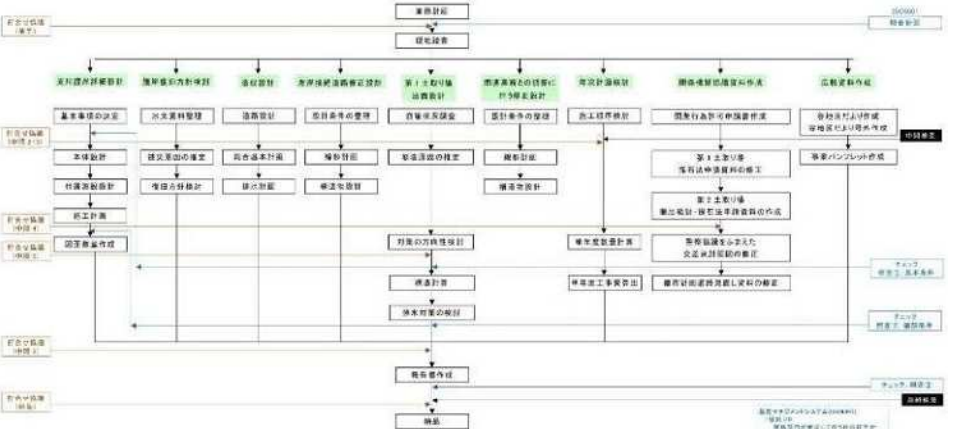
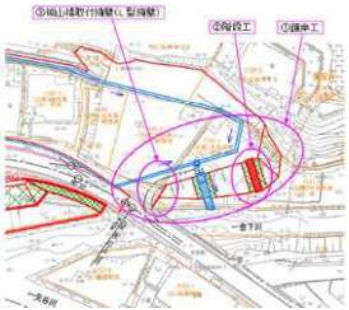


図 1.3 業務フロー

支川（会下川）の護岸修正設計

【概要】

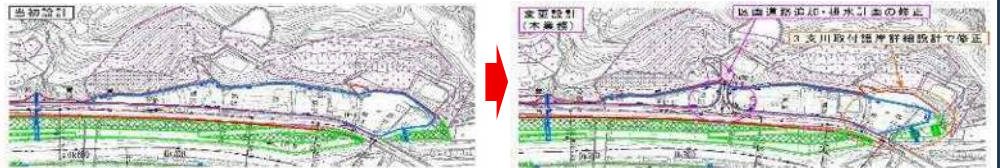
過年度に実施した矢谷川支川の会下川の護岸詳細設計について、計画をもとに用地調査及び用地取得交渉を進めた結果、地権者の意向や保安林の問題等があり、計画の調整が必要になったため、本業務で修正設計を行った。



造成設計

【概要】

過年度に実施した右岸上流側の造成設計について、関係者との調整の結果、区画道路の追加が必要となったため、道路設計とそれに伴う土地利用計画図の作成、排水計画について修正を行った。



年次計画の詳細検討

【概要】

上流の県施工区間の年次計画については、過年度業務で完成までの施工順序と左岸の先行整備エリアまでの全体施工年次計画は作成されているが、川本町との調整による計画の変更や下流の国施工区間の施工順序が考慮されていない。そのため、現時点における県施工区間と国施工区間の年次計画を統合した年次計画図を作成し、国交省・島根県・川本町の三者間で左岸側の施工を優先して進めるという基本方針を確認した。

さらに県施工区間においてはその基本方針に基づき、左岸側完成まで各年度ごとの図面・数量計算書作成及び概算工事費算出、工程表作成を実施した。



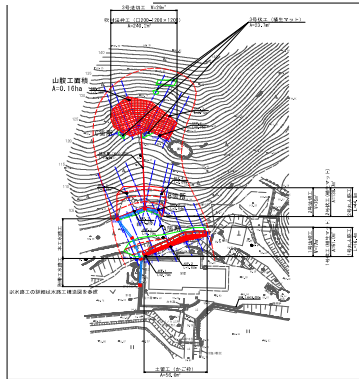
表彰区分	所長等表彰	部門	農林水産設計業務	事務所名	県央県土整備事務所			
業務名	令和6年度（補正）	復旧治山事業	都賀行地区 猪之谷工区 測量設計業務	受賞者	島建コンサルタント 株式会社	技術者表彰	江角 慎	

【業務位置及び業務内容】

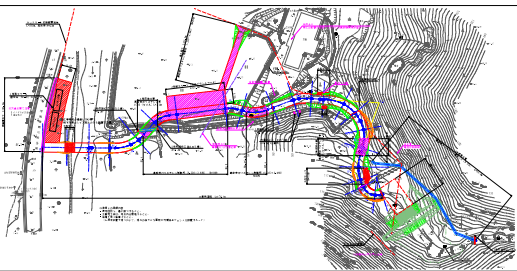
業務位置： 邑智郡美郷町都賀行 地内
業務期間： 令和7年4月11日 ～ 令和7年11月14日
業務内容： 山腹工設計 1件、溪間工設計 1件、山腹測量 A=0.43ha
溪間測量 L=0.13km、用地測量 A=0.37万m2



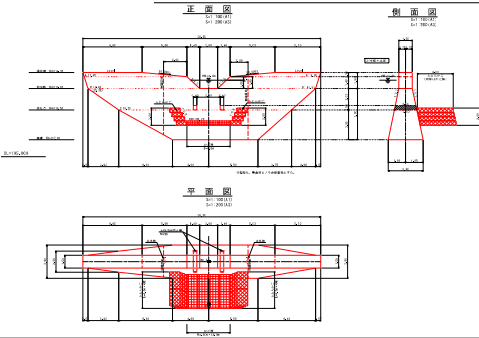
○平面図(山腹工)



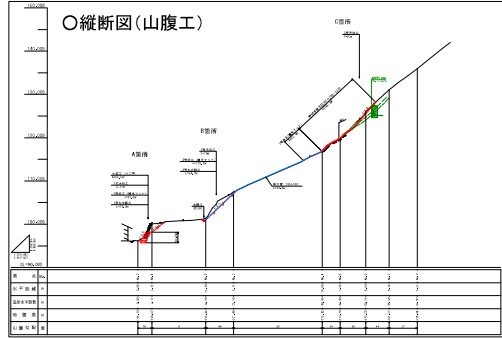
○仮設計画平面図(溪間工)



○構造図(溪間工)

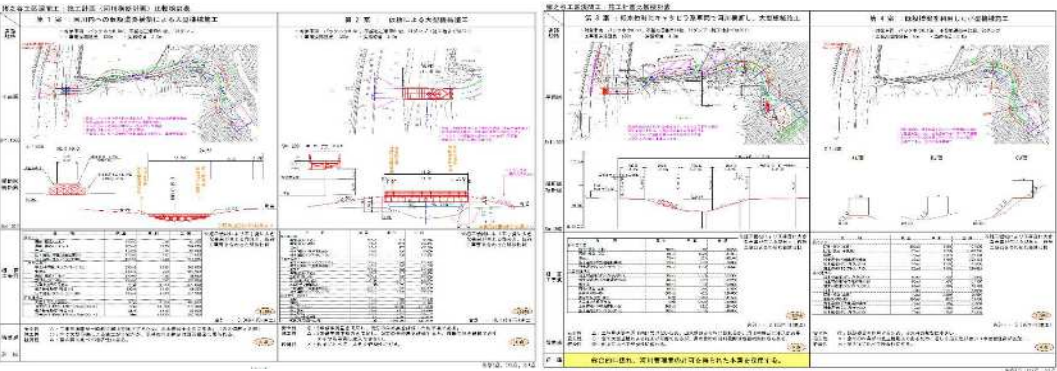


○縦断面図(山腹工)



【仮設計画(比較検討)】

本計画地へアクセスするには、砂防河川「猪谷川」を横断する必要があるが、現在架橋されている橋梁は幅員・耐荷重に課題を抱えている。そのため、課題を考慮した施工計画の立案が必要であり、現況橋梁の活用、河川の直接横断など4案による比較検討を実施。
比較検討の結果、大型機械による施工が可能で、施工性・経済性に優れる第3案【低水位時にキャタピラ系車両で河川横断し、大型機械施工案】を推奨。推奨案は、河川管理者との協議により了解を得られたため、採用とした。



【施工計画】

溪間工・山腹工の工事における施工上の問題点・安全などの留意事項などを37項目にわたり記載し、トラブルの防止、安全な施工に配慮した。下記にその抜粋を記載する。

◎谷止工左岸袖部岩盤斜面

谷止工計画位置の左岸側斜面は、急勾配の岩盤斜面である。床掘時の振動等により落石が生じるおそれがあるため、事前に危険な落石源を排除したり、仮設落石防護柵を設置する等の対策を講じ、安全を確保すること。

◎生コンクリートの配合

本計画においては、コンクリートポンプ車配置位置が猪谷川右岸側に限定されることから、打設距離が長く、標準配合(18-8-40)での打設ができないことが考えられるため、本施工計画での検討により設計配合を(18-12-40)に設定している。施工時の現地状況、コンクリートポンプ車の性能等により配合を確認すること。

◎河川横断について

本計画では、猪谷川の横断は、無処理の河川を低水位時にキャタピラ系車両で横断する計画である。施工に際しては、気象状況、河床状況等に十分配慮し、安全確保に十分配慮すること。また、

令和８年度 県央県土整備事務所長 特別表彰

表彰種別	業者名・団体名	選考理由	担当部署
維持管理	(有)三上建設	【県管理施設の維持管理への対応】 当該業者は、平成１２年度から長年にわたり、県管理施設の維持管理業務に携わり、その功績は顕著である。 美郷町（旧大和村）内の国道３７５号外３路線を担当し、道路のみならず、河川や砂防施設も含め、緊急時には昼夜を問わず迅速かつ的確な処置を行い、県管理施設を安全な状態に保つとともに、地域住民の安全な暮らしの確保に寄与した。	維持管理部



工事 概要	掘削工	V=21,000m ³
	盛土工	V=13,550m ³
	植生工	A=990m ²
	側溝工	L=105m

優良下請工事表彰(所長等表彰)				工事名	矢谷川 防安交付金(水防災)工事 第1期			
部門	土木部門	工種	河川	下請業者名	株式会社 江ノ川開発	下請業種	とび・土工工事	